

■ロシア：浮遊式原子力発電所の原子炉部分が完成

浮遊式原子力発電所（PATES）の原子炉ユニットを含む船舶部分が 2010 年 6 月 30 日、サンクトペテルブルクのバルチスキー工場で進水した。今のところ箱型の船舶構造物（長さ 140m、幅 30m、排水量 2.15 万トン、吃水 5.6m）に過ぎないが、今後 22 カ月をかけて必要な設備がすべて据え付けられる。その後ムルマンスクにおいて原子炉 2 基（各 35MW）に燃料が装荷され、極東カムチャツカのヴィリユチンスクの沿岸海域まで曳航される予定。運開は 2012 年の予定である。運転期間は 32 年とされており、7 年間で費用が回収されることになっている。ロスアトム計画では、PATES の配備は当面 7 地点とされている。PATES の建設コストは 1 カ所当たり 160 億ルーブル（約 500 億円）とされており、ヴィリユチンスクとチュコチ自治管区のペヴェクに配備する分については国の予算で賄えるが、その先は受注を増やし、シリーズ生産によってコストの削減を図っていくことになるという。